

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和6年4月9日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4697300020
法人名	社会福祉法人 恵誠会
事業所名	グループホーム 花神荘ひまわり
所在地	鹿児島県肝属郡肝付町後田2543番地1 (電話) 0994-65-7667
自己評価作成日	令和6年1月20日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センター福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和6年3月30日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

グループホーム花神荘ひまわりは、周りに畑がありのどかな自然があふれた場所にあります。また近隣に食品や必需品を買い物できる店や駐在所・歯科医もあり便利であります。体調面では主治医の病院も町内にあり、定期的に訪問診療を行い、また、突発的な診察などをお願いしやすく安心できる点があります。隣には同系列のグループホームもあり、気候が良い時は日中屋外で一緒に過ごすこともあります。入居された皆様もゆっくりとした空間の中で入居者の笑顔が少しでも多く見れるように努めています。私たち職員も生活の中で入居者の笑顔が少しでも多く見れるように努めています。季節ごとにホーム内でのイベントも計画(花見・ドライブ・七夕飾り・敬老会・クリスマス・初詣・節分など)行っています。地域の振興会の理解や協力も頂いています。今後も入居者・ご家族の皆様にグループホーム花神荘ひまわりに入居して良かったと言われるグループホームを目指してまいります。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当事業所は、同一法人のグループホームに隣接して建てられており、相互の協力体制が築かれている。また、利用者也庭で日光浴や外気浴を一緒に行う等、普段から交流している。
- ・系列の協力医療機関とは緊急時を含めた24時間の連携体制が築かれており、定期的な訪問診療及び訪問看護師の健康管理が行われている。また、利用者の病状等の変化に応じて母体の特別養護老人ホームの選択もできることから、本人・家族の安心となっている。
- ・コロナ禍の影響で面会は玄関で行われているが、家族との外出・外泊は可能であり、家族との交流を支援し関係が途切れないように努めている。
- ・管理者は、休憩時間の確保や有給取得に配慮し、法人と協議しながら職員が働きやすい職場環境づくりに取り組んでいる。また、今後は、職員の確保状況等に応じて研修受講や資格取得も勧めていく予定である。

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅰ．理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	利用者や家族の笑顔を大切に、優しさと思いやりのある介護支援をモットーに、また地域との輪を広げられるよう職員皆で努めています。理念も事務所に貼り出勤時に確認できるようにし、定期的に確認し合っています。	理念をタイムカードの前に掲示し各自で確認している他、朝礼時に唱和・確認することもある。朝礼や職員会議時にケアの振り返りをしている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	G Hの駐車場で地域の方が犬など散歩したり、近所の子供たちも時々遊ぶ場にもなっております。	駐車場を住民に開放し散歩等に休憩として使ってもらったり、住民と一緒に駅伝応援を行っている。日常の中での近所づきあいをしている。住民から野菜の差入れもある。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	面会に来られた地域の方や入所申し込みに来た方などから、介護について相談される事もあり、その都度分かりやすく説明するように心がけています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2か月に1回G Hでの入居者の情報を報告しています。	2ヶ月に1回の運営推進会議を書面で実施している。委員に資料を手渡しする際に意見交換も行っており、地域の情報を得たり事業所の状況の周知を図る機会となっている。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	役場へ提出物や介護保険の手続きに行ったときなど質問等あった時は相談したりしています。	町の担当者とはかねてから気軽に話をする関係であり、運営推進会議資料の手渡し時に意見交換を行ったり、他の用事で出向いた時にも相談をすることがある。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	玄関は日中鍵を開け、いつでも出入りできるようにし、好きな時に屋外へ出かけられています、身体ケアに関しても拘束になるようなことはせず、職員皆で身体拘束はしない心がけで支援しています。	指針があり、委員会及び研修会を3ヶ月に1回実施している。不適切な言葉は研修会で取り上げて注意を促している。玄関の施錠はせず、外に出たい利用者には職員が付き添って庭に出て自由に散策する等、行動を制限しないケアに取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	法人の研修やGHでの研修で虐待防止について話し合いを行っています。支援の中でも虐待のないサービスに努めています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	現在対象者はいません。今後研修会などで勉強は行っていきたい。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約に関する事項は家族が分かりやすく納得してもらえるように説明を行う事を心がけています。皆様が心配にされる退所時も利用者の家族との関係が一切切れるわけではなく、いろんな点で協力させてもらう事の説明をしています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	アンケートも常時玄関に準備しています。又家族の面会時に何か質問や要望等がないか、話を聞かせて頂いています。	利用者の要望は日常会話で把握し、家族の協力で面会や嗜好品購入等の対応をしている。家族の要望は面会時に聞き、対応に努めている。外出・外泊・自宅では、個々の状況で対応しており、正月や年忌での外泊を実施した例がある。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	研修会でも職員に意見や提案を上げてもらっています。また、日常的に何か気づきがある時は職員の声が聞かれるので、意見や提案を反映させるように努めています。	日常の業務の中で出されるケアに関する提案等は、その時々で検討し反映させている。腰痛対策の要望があり、法人から介護ロボットを借りて対応している。個別相談は、随時管理者が受けて対応している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	年2回の勤務評価表にて従業員の評価を行っています。その評価が給与や昇給に繋がる様に努めています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	GH職員会や普段の生活の中でも介護技術が不足している点があれば指導行っています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	知人の同業者の方と連絡を取り情報交換行い、介護サービスについて参考にさせていただいています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	顔を覚えて頂く事を念頭に置き、利用者の不安を少しでも減少させることが出来ればと、利用者より話を聞かせて頂き、利用者の安心感につながる様に努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族の大半はG Hでの生活慣れ、怪我をせず不安なく過すことを望まれています。その気持ちに添えるように入居者の支援に努めています。ご家族に遠慮なく面会に来て下さることをお話ししています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	利用者や家族に生活の中での希望を聞かせて頂き、必要な支援を確認し大事な点や対応方法などある時は確認して利用者のサービスに繋げられるように努めています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	一緒に過ごしていく中で、利用者の出来る事を把握し、無理のない範囲で洗濯物たたみや軽作業を一緒に行っています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族の中にも定期的に面会に来て下さり一緒に出掛けたり、玄関先で一緒に過ごす時間を持って下さっております。その結果GHでの生活状況も理解して下さっている部分も多いと思います。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	入居者によって希望が聞かれれば、個別に理容室に出かけたり、自宅近くをドライブし気分転換も行っています。	家族・知人との面会や家族との外出・外泊による交流を支援しており、毎月近況報告を送付して家族との繋がりが途切れないように努めている。希望で理美容の利用や自宅近くのドライブも行っている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者同士で相性の良い悪いもあります。入居者が孤立せぬ様に職員が間に入り関係を少しでも持てるように努めています。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	体調面で長期入院による退所された方でも、時々入院先に電話などで状況を確認も行っています。また買い物先でご家族と会う事もあり、そこで状況を確認することもあります。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	利用者の生活ペースに合わせて過ごしてもらい、GHでの生活の中で話を聞かせて頂き、どのように過ごしていきたいか聞いたり、人に言いづらい事もないか、顔の表情など普段の中でも気をつけています。夜間帯や入浴時に入居者が話をして下さる事も多い。	夜勤帯や入浴介助中に本人から話をされることが多く、話の内容と本人の表情等を併せて意向等を把握するように努めており、記録で職員間の共有を図っている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前に本人や家族に話を聞かせて頂き、また入居後でも普段の会話の中で自然と出て来る生活歴など以前の事を教えて頂き把握に努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一緒に過ごす中で普段と違う点が見られた時は、特にみんなで情報を共有し気をつけるように努めています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	利用者や家族・職員で担当者会議や面会時に話を聞かせて頂き、また主治医の往診時の意見も参考にしています。それらの言葉を大事にし、より良いケアが出来るように介護支援計画を作成しています。	面会時に担当者会議を実施し、本人・家族・管理者・ケアマネージャーで話し合い、職員会議での意見を入れて介護計画を作成している。モニタリングを6ヶ月に1回、見直しは6ヶ月毎及び状況変化時に実施し、現状に合った介護計画にしている。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々その日の記録担当が中心になり記録を行い、全職員がみて確認し合っています。いつもと違う事があれば情報を職員同士で伝達し、必要な時は介護計画の見直しにつなげていけるようにしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	「髪を切りたい」話が聞かれたときは、入浴のある日に散髪などさせて頂いています。個人ドライブも希望があれば行っています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	買い物できる店も数店あり便利です。駐在所も近くにあり「何かある時は連絡ください」と言葉を掛けて頂いています。また、年に2回避難訓練行っており、指導アドバイスなども頂いています。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	G Hでは利用者の皆様に統一した協力機関があり、月2回主治医より診察を受けています。主治医の言葉もご家族に面会時など報告しています。夜間等も緊急時の連絡体制が出来ております。	契約時に説明し、協力医療機関がかかりつけ医になることを了解している。月2回の訪問診療及び月2回の訪問看護による健康管理を実施し、緊急時等の連絡体制もできている。他科受診の職員対応時は家族に結果を報告している。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	同系列のGHが同敷地内にあるので協力医療機関の看護師が月6回は訪問されるので、何か尋ねたいことがあれば確認しアドバイスを頂く事もあります。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院されたときは定期的に入院先へ利用者情報を電話など頂き、身体状況など確認しています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居前に、GHに入所後、身体の重度化があった時など、主治医の意見を参考に同系列の特養への移動をお願いするケースがある事を説明しています。	契約時に、指針で重度化等の場合の対応について説明し同意書をもっており、特別養護老人ホーム申し込みも行っている。重度化の場合、主治医または指示を受けて管理者から家族に病状を説明し、家族の意向を確認している。家族の意向に沿って、事業でできる支援に取り組んでいる。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	利用者一人一人の既往歴など確認する。また緊急時等の対応について、会議や随時必要な時に、その都度話を行っています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	避難防災訓練を年に2回行っています。消防署よりアドバイスも頂いています。同敷地内にあるGH花神荘とも連携を図っています。施設にスプリンクラーも設置しています。	年2回地震・火災の避難訓練を昼夜想定で隣接グループホームと連携して実施し、消防署の立ち合いを1回受けている。非常用の備蓄は、3日分の水・レトルト食品・カップ麺・米・缶詰等の食料及びカセットコンロを準備している。また、町の要請があれば住民の避難を受け入れる予定である。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	プライバシーに気配りを行い、利用者の人格を損ねないように接しています。	マニュアルを使って研修を実施し、その人に合わせた言葉遣いや入室時・ケア前の声掛け、排泄・入浴介助時の羞恥心への配慮等、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応に努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	まずは話を聞くことが第一と考え（言葉に出さない心の思いも気にしながら）、利用者の話を傾聴するよう心がけています。入居者の意志や希望を聞いて、それに答えられるように心がけています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者の考えを第一に、日課はありますが無理強いしない様に心がけています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	衣服は本人の着たいものを着てもらう。髪型は出来る方は自分でクシ通しなどして頂いています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	日常会話の中で好きな食べ物・懐かしく食べてみたいもの等を聞かせて頂き調理したり、菜園で作った野菜を皆様にも見て頂き、それを調理に利用する。台拭きもしてくれることもある。	利用者の希望も入れて献立を立て、刻み食等の食べやすい形で提供しており、利用者も一緒に下ごしらえや台ふきをしている。誕生会のケーキや季節の行事食、弁当持参で公園に行く等、工夫して取り組んでいる。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事・水分量を記録し身体の調子はどうか確認している。水分補給の大切さを説明したり主治医の診察時の採血結果から主治医の指導も受け入居者にも説明しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後は自分で口腔ケア出来る方はお願いし、支援が必要な方はお手伝いしています。嗽は自分でして頂いています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄時間を記録に残す事で排泄時間を把握し、必要な方はトイレ誘導行っています。各食前・食後の排泄の声掛けも行う。便秘がちな方もおられ、水分補給や出来る範囲の運動も声をかけさせて頂いています。	日中はトイレでの排泄を基本に支援しており、時間を見て声掛け・誘導もしている。退院時のオムツは数日でリハビリパンツに変更できるよう取り組んでおり、排泄用品は個々に合ったものを検討している。夜間のみポータブルトイレやオムツを使用する利用者もある。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便の記録を行い便秘防止を図っています。食事・水分補給や運動の声掛けも行っています。それでも出ない時は下剤の使用も試みています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	週に3回の入浴を行っています。体調不良で入浴行えない方は清拭や足浴・更衣だけなど行っています。	週3回午前中を基本に入浴を支援しており、入浴を嫌がる利用者はいない。利用者は浴槽に浸かってゆっくり入浴を楽しんでおり、体調不良等の場合はシャワー浴や清拭等で保清に努めている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	利用者が自室でのんびりしたい・ベッドで休みたい時などは自由にお部屋で過ごして頂いています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	診察後の薬の処方に変更で新しい薬が処方された時は、職員みんなに説明しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	日々体操や歌・外気浴など行い、また各季節の行事（ドライブ、花見、敬老会、クリスマス会など）は皆さんが楽しんで頂けるように計画を立てています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	天気のいい日は皆で外気浴を行い、また気分転換のドライブも行っています。個人ドライブも。	天気の良い日は、庭で隣接グループホームの利用者と一緒に日光浴や外気浴をしている。年間計画を作成し初詣や花見に出かけている。利用者の希望やその日の状況でミニドライブをすることもある。家族と受診のための外出をする利用者もいる。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	自分でお小遣い程度のお金を管理している方は2名おられます。時々買い物をお願いされる事があり支援しています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	入居者より依頼がある時は電話を自由に使用して頂いています。携帯を持参されている方は2名おられます。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	GHの建物は段差がなく手すりも設置し、車椅子用のトイレも設置しています。リビングは天井が高く天窓もあります。入居者の方が過ごしやすいようにバリアフリーの作りとなっています。	ホールは天井が高く、高窓を開けて換気を行っている。明るい室内は空気清浄機や加湿器で適度に調節している。車いすの動線に支障の無いテーブル配置や季節感を感じてもらえるような飾りつけを工夫している。利用者が好みの場所でくつろげるよう、ソファは3ヶ所に設置している。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	各居室にはベット・クローゼット・タンス・洗面台・クーラーが設置しており、それぞれの方が自由に過ごせる環境を整えています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者や家族にお部屋を確認し、それぞれの方が必要だと思われるものを持参して頂き、また居室も入居者が過ごしやすいようにテレビや棚などを設置されている方もおられます。	居室には、ベッドやタンス・洗面台・エアコンが備えている。本人は自宅等で使い慣れた寝具やテレビ・テーブル・椅子・ラジオを持ち込み、写真や作品を飾って居心地よく過ごせるようにしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	建物内は移動しやすいように段差を作らず、手すりを設置しています。夜間に備えて自然電灯の設備も設置しています。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない